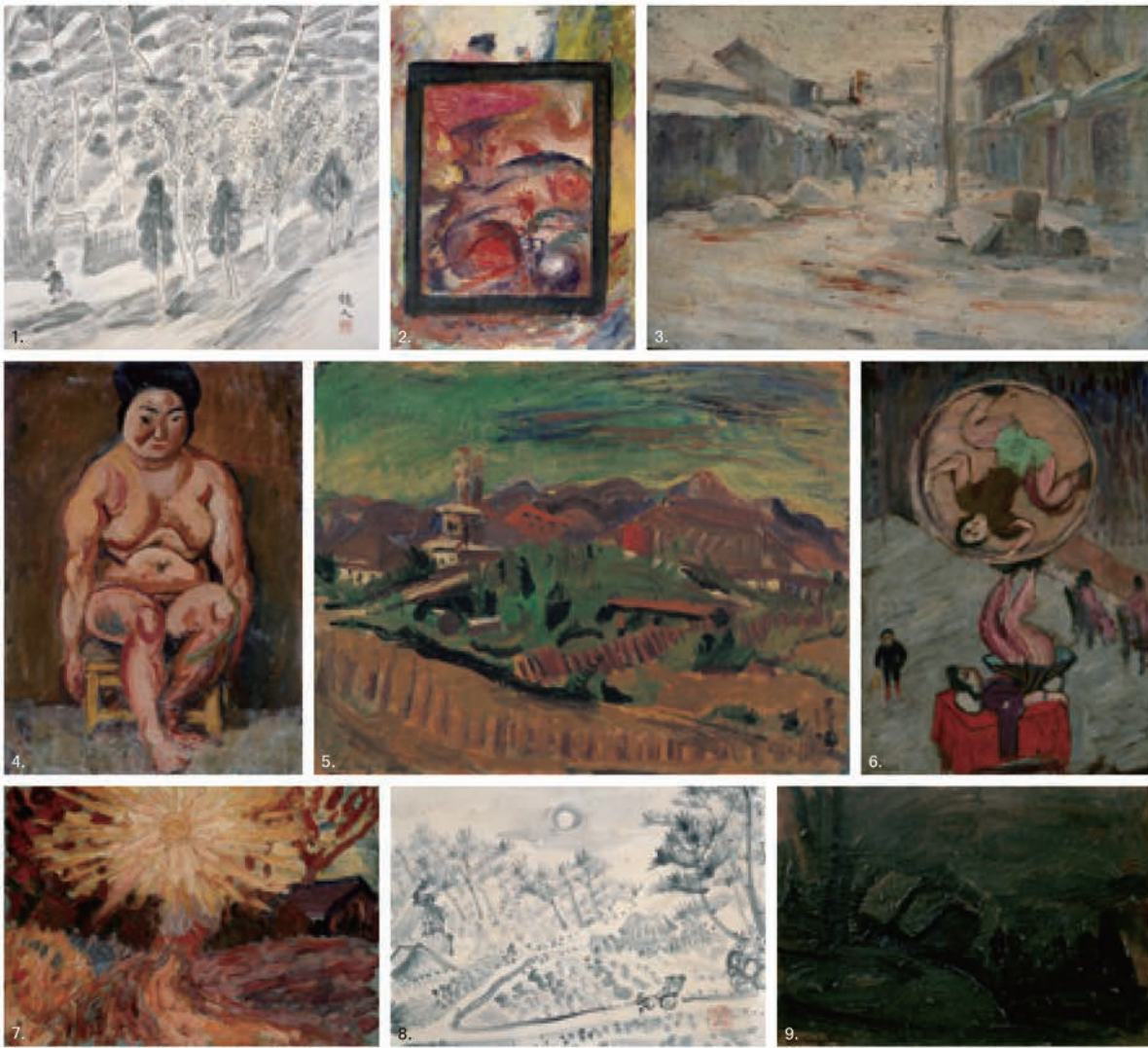


萬鉄五郎を解いて、見る。

観る・読む・語る 萬鉄五郎



1.「松林」紙本彩色・額装 60.5×66.0cm 1922(大正11)年頃
 2.「心象風景」油彩・板 32.0×23.0cm 1912(明治45)年頃
 3.「土沢雪景色」油彩・紙 22.5×33.1cm 1910(明治43)年頃
 4.「裸婦」油彩・画布 44.2×32.2cm 1914(大正3)年
 5.「海岸風景」油彩・画布 31.8×40.9cm 1923(大正12)年頃
 6.「軽業師」油彩・板 33.0×24.0cm 1912(大正元)年頃
 7.「太陽と道」油彩・板 24.0×33.0cm 1912(大正元)年頃
 8.「帰り道」紙本墨画・額装 27.5×38.0cm 1923(大正12)年頃
 9.「夜の雪」油彩・板 31.8×40.9cm 1916(大正5)年頃

日本近代美術の先駆者・萬鉄五郎は、41歳という短い生涯のなかで多くの作品を描きました。「裸体美人」に代表されるフォービスム、「赤い目の自画像」の未来派風、「もたれて立つ人」のキュビスムなど、その表現様式は多岐にわたり、日本近代を代表する画家という高い評価を得ています。それら広く知られた油彩作品に加え、水彩画、版画も手掛け、また水墨画にも新たな境地を示しました。ただ、その多様で独創的な表現ゆえ、作品が難解であるという印象が強く、「一般の美術ファンからは『難しい』『よくわからない』と敬遠されがちであったことも事実です。

そこで「私の好きな萬鉄五郎、この一点」というテーマで、美術関係者や著名人にエッセイをお寄せいただき、それを手掛かりに萬本人や、その作品へ親しみを持って鑑賞いただける展覧会を開催いたします。様々な視点から語られるエッセイと共に、作品を鑑賞していただくことで、萬鉄五郎を読み解く機会となればと考えています。萬ファンのみならず多くの皆さまに、萬鉄五郎に触れ、その魅力を感じていただければと思います。あなたと萬鉄五郎との新たな出会いが生まれることを祈っています。

第36回 萬鉄五郎祭

日時 5月3日「火・祝」

【会場】萬鉄五郎記念美術館前広場

【式典】5月3日「火・祝」14時～14時30分
 献花、「鉄人独語」朗読など

● 写生会
 会場 萬鉄五郎記念美術館周辺
 参加費 500円

● 写生会作品展示会
 会場 花巻市立東和図書館
 4月25日「月」～5月16日「月」 9時～17時

● 茶会
 会場 第一席 荷舟庵 第二席 萬鉄五郎記念美術館前
 5月4日「水・祝」10時～15時
 お茶券 700円
 実施団体 東和町茶道研究会

《主催》萬鉄五郎祭実行委員会
 《後援》花巻市、花巻市教育委員会、花巻市校長会、花巻商工会議所、
 一般社団法人花巻観光協会、株式会社土澤まろくり会社、
 東和嬢ケイタイオンスクラブ、ホテルフォルクラークロ口花巻東和、J A いわて花巻

土澤アートクラフトフェア

【日時】5月3日「火・祝」・4日「水・祝」10時～16時

【会場】萬鉄五郎記念美術館周辺&土澤商店街
 県内外から美術品や工芸品、いろいろな手づくり作品のお店280組が大集合

i w a t e コンテンポラリーアート vol.1

【五十嵐彰】展——軌跡——
 【日時】4月23日「土」～7月10日「日」9時～16時30分
 【会場】萬鉄五郎記念美術館「八丁土蔵ギャラリー」
 【料金】入場無料



萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135
 TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405